

# 歴史文化の薫るまちで

## 「心と心のふれあい・交流」を

愛媛県松山市

愛知県立東海商業高校

工業地帯を擁する東海市。「子どもたちが歴史を感じ

松山市が提案した体験  
×ニューの実施第一号と  
して、愛媛県松山市を訪  
れた愛知県立東海商業高  
校。平和学習を目的に広  
島を訪れることは決まっ  
ており、その後行ける歴  
史があり豊かな自然を体  
験できる場所として、松  
山が候補にあがった。同  
校が位置するのは、臨海

松山へは宮島からチャ  
ーター船で移動。生徒は  
3コースに分かれ、1コ  
ースは来島海峡大橋をサ  
イクリング、もう1コー



環境浄化微生物「えひめAI-2」製造風景

# 地元農家でのみかん狩りに投げ釣り —体験活動も充実—

又は愛媛県立とべ動物園  
を訪れた後、伝統工芸砥  
部焼を体験、残る1コー  
スは瀬戸内海に浮かぶみ  
かんの産地中島に滞在。  
地元の人々に教わり釣り  
やみかん狩りを体験、パ  
ーベキューを楽しんだ。  
また中島では、「えひ  
めAI」という、愛媛県  
産業技術研究所が開発し  
た、水質浄化や悪臭防止  
効果のある環境浄化微生  
物を使った環境学習も実  
施。中島はこの「えひめ  
AI」を使用し、水路の  
臭いやヘドロを減少させ  
た実績がある。現在全国  
で環境浄化に使用されて  
おり、同校のある東海市  
もそのひとつ。家庭でも  
納豆やヨーグルトなど身  
近にあるものを使って作  
ることができ、生徒たち  
は、開発者のレクチャー  
を受けその製造を行った。  
3コースは夕方合流し、  
夕食後、道後温泉周辺を  
散策。多くの俳人を輩出  
した同地で俳句作りや人  
力車を体験した。

市の受け入れ態勢につ  
いて、「こちらの希望を  
熱心に聞いてくださった  
と話す福島教諭。愛媛県  
立とべ動物園で餌を与え  
るなどの体験も、同市の  
担当者が動物園側と交渉  
し実現したという。子ど  
もたちからも「地元の方々  
が親切に教えてくださり  
嬉しかった」「修学旅行  
がこんなに素晴らしいも  
のになり本当に感謝して  
いる」といった感想が聞  
かれたという、地元の人々  
とのふれあいを実感した  
様子がかがえた。

### 立花高校(福岡県)

昨年度、はじめて修学  
旅行先に松山を加えた福  
岡県立立花高校。広島・宮  
島・松山・宇和島・高知  
という流れで4泊5日の  
プログラムを組む。東海  
商業高校と同様、広島で  
平和学習をした後、松山  
で歴史文化遺産を訪れ、  
中島でみかん狩りや釣り  
などの体験を行った。「え  
ひめAI」作りも同様に  
実施。旅行は教育活動の  
一環というスタンスから、  
環境学習の題材として授

### 広島・関西方面からのアクセスも良好 —愛媛県松山市—

昨年NHKによってスペシャルドラマの放  
送も開始された司馬遼太郎原作「坂の上の雲」  
の舞台、愛媛県松山市。道後温泉などを有し、  
古くからの観光地である同地は今、豊かな歴史  
文化や自然を資源に教育旅行の受け入れを精力的  
に行っている。昨年訪れた学校は30校。誘致を  
開始してからほぼ10倍に増えた。

2校が取った広島—松山間の移動はチャ  
ーター船を利用して1時間程度。松山市では、修  
学旅行の定番、広島—関西に松山の「心と心の  
ふれあい・交流」体験を加える「ゴールデンル  
ート」を提案している。

【問い合わせ】松山市産業経済部観光産業振興  
課修学旅行担当＝電話089・948・6558  
<http://www.oidenka-matsuyama.com/>

業にも取り入れている。  
旅行先決定にあたって  
は、事前に松山市観光産  
業振興課の担当者が来校  
し、学校側からも2名視  
察に派遣した。同校の齋  
藤眞人校長は、まちの魅  
力はもちろん、実施を後  
押ししたのは担当者をほ  
じめ、現地の人々の熱意  
や温かさだったと語る。  
不登校児を多く受け入れ  
ており、中学校まで修学  
旅行に参加したことな  
い生徒もいるという同校。  
「子どもたちにも松山の  
人々の情を感じてほしい」と  
実施を決めた。「中島  
では保育園児も含め島民  
総出のお迎えを受け、体  
験活動でも島のおしん。  
おばさんが集まって教え  
てくれた。同市の担当者  
の方も始終面倒を見てく  
ださった。教職員自ら現  
地の方々へ感謝の姿勢を  
示していたが、子どもた  
ちもその温かさ感謝の  
気持ちに身染みて感じ  
ていたようだ」。

生憎の天気に見舞われ  
たが、土砂降りの雨の中、  
子どもたちは不平不満も  
言わず松山城へ登ったと  
いう。同校長は「普段は  
前向きに何かに取り組む  
ことが苦手な子どもたち  
が多い。地元の人々の気  
持ちは真摯に受け止めて  
いた表れた」と話す。